

口腔外科手術時の患者管理

責任者名：米原 啓之

学期：前期

対象学年：4年

授業形式等：講義

◆担当教員

米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)

大井 良之(歯科麻酔学 教授)

小柳 裕子(歯科麻酔学 助教)

池崎 弘之(歯科麻酔学 兼任講師)

古川 明彦(口腔外科学Ⅱ 助教)

◆一般目標 (GIO)

口腔外科手術に際して、周術期（手術前、手術中、手術後）における全身的、局所的な患者管理の重要性を理解し、基礎疾患を有する患者の具体的治療法および偶発症が生じた際の対処法を身につける。

◆到達目標 (SBO s)

口腔外科周術期における重要性を歯科治療に関連づけることができる。

基礎疾患を有する患者の歯科治療における注意点を具体的に述べることができる。

◆評価方法

平常試験・課題（30%）および最終課題（70%）の成果物で評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
大井 良之	月曜日 17:00~18:00 歯科麻酔学教授室	03-3219-8130	
池崎 弘之	授業終了後に質問を受けつける。	oi.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp (授業内容に関しては大井良之教授が対応する)	
小柳 裕子	授業終了後に質問を受けつける。	03-3219-8140	
米原 啓之	月曜日 17:00~18:00 口腔外科Ⅱ（臨床医学講座）教授室	03-3219-8093	
古川 明彦	月曜日 17:00~18:00 口腔外科Ⅱ（臨床医学講座）研究室	03-03219-8355	

◆授業の方法

授業は講義形式で行い、理解度を平常試験で確認し知識の定着をはかる。

【実務経験】大井良之：大学病院での幅広い臨床経験に基づいて、具体的な裏付けのある内容を伝える講義を行いたいと考えております。

池崎弘之：長きにわたり心臓血管系の麻酔を行っており、心臓血管系疾患を有する症例等の管理について最新の知見を提供したいと考えております。

小柳裕子：日本大学歯学部附属歯科病院や総合病院での臨床経験を生かした講義を行いたいと考えております。

古川明彦：現在在職している日本大学歯学部附属歯科病院口腔外科での経験等をふまえながら、歯科臨床現場において本科目で学ぶ内容の理論や手技がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えています。

米原啓之：臨床医の立場からわかりやすく感染症についての理論（総合病院において臨床診療を実践していた経験から、医学的知識は日々進歩しており常に発展途上にあるという視点に立ち、現在行われている医療の先進的な点や限界・課題）を説明します。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書 1	口腔外科学 第 5 版	工藤逸郎	学建書院	
教科書 2	歯科麻酔・生体管理学 第 2 版	吉田和市	学建書院	2016
教科書 3	歯科麻酔学 第 8 版	金子 讓	医歯薬出版	2019
参考書 1	口腔外科学 第 3 版	白砂謙光 古郷幹彦	医歯薬出版	

◆DP・CP

DP3 コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンス：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる

DP4 コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンス：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを習得できる

DP5 コンピテンス：挑戦力

コンピテンス：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる

CP3 幅広い教養と歯科医療に必要な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する

CP4 歯科医学の知識を体系的に習得し、臨床的な視点で問題を解決する力を育成する

CP5 研究で明らかとなる新たな知見と研究マインドをもとに、歯科医学の課題に挑戦する学生を育成する

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。理解できなかった点は講義後すぐに解決を図る。

◆準備学習時間

授業時間の2倍相当を学修時間に充て、講義の予習および復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

歯科麻酔学各論（4年前期）

口腔外科治療の実際（4年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1	4	5.11	4	5. 心臓・脈管系疾患の総論 (教2) (教3) pp.94~101	・循環器疾患患者の典型的な訴えを知り、その原因となる基礎疾患との関連性を理解できる。	大井 良之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
2	4	5.18	4	6. 心電図の基礎 (教2) (教3) pp.79~90	・心電図波形の成り立ちを理解できる。 ・心電図の読み方を理解できる。 ・典型的な不整脈の心電図を理解できる。	大井 良之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
3	4	5.25	4	7. 高血圧 (教2) (教3) pp.325~330	・高血圧の病態を理解できる。 ・高血圧と臓器障害の関連を理解できる。 ・高血圧治療の実際を理解できる。	大井 良之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
4	4	6.1	4	8. 虚血性心疾患 (教2) (教3) pp.330~336	・虚血性心疾患の症状・病態・心電図・使用薬について理解できる。	池崎 弘之 大井 良之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
5	4	6.8	4	9. 循環器疾患と合併症（脳血管障害など） (教2) (教3) pp.338~357, pp.386~387	・循環器疾患に関する重大な合併症の発生メカニズム・徴候・管理を理解できる。	大井 良之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
6	4	6.15	4	10. 循環器疾患と薬物 (教2) (教3) pp.325~345	・循環器疾患患者に使用される薬物を理解できる。	大井 良之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

7	4	6.22	4	平常試験・課題	・第1回~第6回までの講義に関して試験、もしくは課題を行う。	大井 良之 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
8	4	6.29	4	1 1. 呼吸器疾患・総論 (教2) (教3) pp.24~37 pp.79~94	・呼吸器疾患患者の典型的な訴えを知り、その原因となる基礎疾患との関連性を理解できる。	小柳 裕子 大井 良之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
9	4	7.6	4	1 2. 閉塞性肺疾患 (教2) (教3) pp.315~321	・閉塞性肺疾患(気管支喘息や肺気腫)の症状・病態・検査・常用薬と歯科治療時の注意点について理解できる。	小柳 裕子 大井 良之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
10	4	7.13	4	1 3. 拘束性肺疾患・その他 (教2) (教3) pp.321~322	・拘束性肺疾患の症状・病態・検査・常用薬と歯科治療時の注意点について理解できる。 ・呼吸器に関連するリスク(感冒や喫煙)を理解できる。	小柳 裕子 大井 良之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
11	4	7.20	4	1 4. 代謝性疾患(糖尿病)・定義と診断 (教2) (教3) pp.79~90, pp.357~361	・糖尿病患者の症状・病態について理解できる。	大井 良之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
12	4	7.27	4	1 5. 代謝性疾患(糖尿病)・治療と合併症 (教2) (教3) pp.79~90, pp.357~361	・糖尿病患者の合併症とその予後について理解できる。 ・糖尿病の治療について理解できる。	大井 良之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
13	4	8.3	4	1 6. 内分泌疾患 (教2) (教3)	・典型的な内分泌疾患の病態と治療について理解できる。 ・内分泌疾患を有する患者管理につ	小柳 裕子 大井 良之	E-6 医師と連携するために必要な医学的

				pp.79~90, pp.357~361	いて理解できる。		知識
14	4	8.17	4	1. 滅菌と消毒 2. 術者の手指, 手術野の消毒 (教1) pp.323~325	・滅菌と消毒の概念を学び, 手術器具・材料の滅菌の種類と方法について理解できる。 ・術者の手洗いの方法と消毒剤の使い方, 術前の手術野の消毒法と口腔の消毒法について理解できる。	古川 明彦 米原 啓之	C-4-1) 感染 E-1-5) 小手術
15	4	8.24	4	3. 感染予防対策 4. 手術患者の管理 (教1) pp.283~290 ・最終課題	・スタンダードプレコーション(標準予防対策)の考えを理解し, エビデンスに基づいた感染対策を理解できる。 ・院内感染対策が必要な疾患について説明できる。 ・術後の合併症回避と手術成績向上のために, 全身状態を把握し諸検査評価の重要性について理解できる。 ・第1回~第15回までの内容に関する課題を提示する。	古川 明彦 米原 啓之	A-6-3) 医療従事者の健康と安全 E-1-5) 小手術

